

第6節

地域資源を生かした
活力あるまちをつくるために



6-1 みんなが愛着と誇りを持てる、地域の特色がきらりと光るにぎわいのあるまち

施策16 活力ある産業の推進

目的	対象	消費者、事業者、起業家
	意図	商店街がにぎわう・市内消費が高まる 企業活動が活発になる・市内の起業家が増える

○ 施策の方向

商店街の環境整備を促進し、その魅力を高めることで、魅力ある商店街づくりと市民の日常的な買物の利便性及び満足度を向上させます。また、地域経済を支えている中小企業・小規模事業者の振興や創業支援を行うとともに、調布市の特性を生かした市内産業の活性化を図ります。

○ 施策のポイント

- 中心市街地の活性化とにぎわいを市内全域へつなげる取組の推進
- ラグビーワールドカップ2019™日本大会や東京2020大会を契機とした市内消費の促進とインバウンド対策の推進
- アウトリーチ型経営相談などによる創業の支援や中小企業の経営基盤の安定・強化
- 映画・映像関連企業や大学との連携など市の特性を生かした取組の推進

基本的取組の体系



★重点プロジェクト4

基本目標6

施策16 活力ある産業の推進

〇 現状と課題

- 〇 調布駅周辺においては、駅前広場や鉄道敷地の整備が段階的に進展する中で、平成29（2017）年9月に市民待望のシネマコンプレックス「シアタス調布」を含む3館の商業施設「トリエ京王調布」がオープンしました。調布のまちが大きく変貌し、周辺の商店会・事業者等と連携・協議しながら、ソフト・ハードが一体となったまちの活性化を推進していく必要があります。



トリエ京王調布

- 〇 市内での購入比率の向上に向け、地域情報誌や市ホームページで商店会や特色あるお店を紹介したほか、ウォークラリー等の商店街イベントの支援やスクラッチカード事業の実施など、「バイ調布運動」を促進しています。引き続き、市内の消費喚起や商業の活性化、市民生活支援を図る取組を展開していく必要があります。



スクラッチカード事業

- 〇 民間ノウハウを取り入れた中小企業等の振興及び地域経済の活性化を図るため、多摩信用金庫、三井住友銀行、りそな銀行、みずほ銀行・みずほ信託銀行、西武信用金庫と調布市における中小企業等支援に関する包括協定を締結し、相互連携による市内中小企業・小規模事業者へのきめ細かな支援に取り組んでいます。
- 〇 市内での新たな創業を促進するため、産業労働支援センターでは、創業に関わる相談やセミナーを実施しているほか、市内の空き店舗等を活用して創業しようとする方、または創業して間もない方に対して、賃借料の一部を補助する制度等を創業支援事業として実施しています。創業に関する相談は増加傾向であり、今後は、民間ノウハウを生かした創業支援やきめ細かな経営支援を図っていく必要があります。
- 〇 平成29（2017）年に、電気通信大学の創設100周年記念事業の一つとして開設されたUECアライアンスセンターには、国内の先端技術を有する企業や学内研究組織が入居しています。今後、同センターと連携した市内産業の活性化に向けた取組を推進していく必要があります。
- 〇 平成29（2017）年12月に国が示した新しい経済政策パッケージにおける中小企業・小規模事業者等の生産性革命に向けた取組を踏まえ、市として償却資産に係る固定資産税の特例措置を講じるなど、中小企業の設備投資を促進するための支援に取り組んでいます。

基本的取組の内容

16-1 にぎわいを創出する商業活性化の支援

◆にぎわい創出の支援

商店会、大型商業施設を含む事業者、商工会、観光協会及び調布市が連携・協働し、市民の協力と理解の下、市内商業の活性化を推進します。「デカ盛りウォークラリー」、「Oh！！辛チャレンジ」、駅前での「マルシェ」などに取り組むほか、商店街のイベントや振興事業を支援するとともに、地域資源を活用した観光施策とも連動させ、市内回遊性の向上を促進します。

◆商店街買物環境整備等の支援

来街者が快適で安心して買物ができる、商店街づくりを促進するため、街路灯のLED化やアーチの整備など、商店街の買物環境整備を支援します。また、買物が困難な方のために、事業者等との連携による取組を通じ、支援策を検討します。

◆中心市街地活性化の推進

調布市中心市街地活性化プランに基づき、回遊性向上の取組と連動し、旧甲州街道沿道のまちづくりの推進、映画・映像等の地域資源を活用した活性化、中心市街地の9つの商店会が連携して実施する活性化事業など、商工会・事業者等と連携して活性化を推進します。また、中心市街地のにぎわいを市内全域につなげる取組を推進するとともに、中心市街地活性化プランに代わる計画の策定に取り組みます。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
日常の買物が便利と感じている市民の割合	73.8% (平成30(2018)年度)	80% (令和4(2022)年度)

基本計画事業

No.	52	重点4				
事業名	商店街活性化の推進		区分	継続	担当課	産業振興課
事業の概要	買物環境の整備等を支援するとともに、来街者を増やしにぎわいを創出するため、商店会が実施するイベント事業等を支援します。					
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度		
	○商店街のイベント支援	○継続	○継続	○継続		
	○商店街の施設整備への支援	○継続	○継続	○継続		
	○中心市街地活性化プランの推進	○継続	○継続	○継続		
事業費 (百万円)	33	41	33	33		

◆特色あるお店づくりの支援と市内消費促進による商業活性化支援

市内消費を促進するため、市報やホームページ、地域情報誌などを活用し、市内の特色あるお店のPRとともに、商工会・事業者との連携のもと、より多くの市民が市内での買物を楽しんでもらえるよう、「バイ調布運動（市内消費）」を促進します。

◆ラグビーワールドカップ2019™日本大会、東京2020大会を契機とした商業活性化の支援

ラグビーワールドカップ2019™日本大会、東京2020大会を契機として、調布市ならではの、お土産のPRや販売促進の支援とともに、市内事業者による新商品・新製品の開発への支援に取り組みます。また、商工会をはじめとした多様な主体と連携しながら、市内回遊性向上や商業活性化につながる各種イベントを実施するほか、店舗メニューの多言語化やWi-Fi整備、キャッシュレス対応などのインバウンド対策を推進するとともに、市内商店等におけるバリアフリー化を支援します。

◆福祉作業所と連携した特色ある商品開発と販路拡大の支援

市内消費の促進と福祉作業所の受注機会の確保を目指し、福祉作業所と市内事業者、農業者、商店会等が連携して、特色ある商品開発と販路拡大の促進を支援します。また、福祉作業所の商品、製品等のPRや各種イベントへの出展を支援します。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
市内商業者（小売業）の年間販売額	2,114億円 （平成29（2017）年度）	2,254億円 （令和4（2022）年度）

基本計画事業

No.	53	区分	拡充	担当課	産業振興課
事業名	調布市商工会事業の支援				
事業の概要	調布市商工会が実施する市内事業者の経営改善普及事業や地域産業の振興事業等を支援します。				
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	
	○調布市商工会の活動・運営支援	○継続	○継続	○継続	
	○「バイ調布運動」の促進	○継続	○継続	○継続	
	○ラグビーワールドカップを契機とした市内消費の促進	○東京2020大会を契機とした市内消費の促進			
事業費 (百万円)	62	65	60	60	

○関連事業

- ・地方共生推進ふれあい商店等補助事業の実施（商工会と連携したバリアフリー化の推進）

◆調布市商工会への支援

市内産業の発展に向けて、商工会の経営改善普及事業や地域総合振興事業をはじめ、商業部会、工業部会、建設業部会、青年部、女性部、サービス業部会の部会活動を支援します。また、商工会と連携して市内事業所・事業者を支援します。

◆中小企業・小規模事業者への経営支援

中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定と成長を支援するため、地域金融機関や中小企業診断士などの民間ノウハウを積極的に活用し、経営相談やアウトリーチ型経営相談（よろず経営相談）、各種セミナーの開催、商品開発・販路拡大等の支援や課題である事業承継を、商工会及び関係機関と連携して支援します。また、事業経営に必要な資金の融資をあっせんし、融資を受ける際の事業者負担の軽減を図り、経営の安定化を支援します。

◆中小企業・小規模事業者への技術支援

商工会と連携して、市内中小企業・小規模事業者が有する技術を生かした新製品開発の取組を支援します。また、電気通信大学の研究活動や技術などを生かした市内事業所への技術指導や連携などを支援します。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
納税法人数	6,073法人 (平成29(2017)年度)	6,100法人 (令和4(2022)年度)

基本計画事業

重点4

No.	54						
事業名	中小企業・小規模事業者の支援			区分	継続	担当課	産業振興課
事業の概要	事業承継、創業・経営支援、人材育成・人材確保支援、商品開発・販路拡大支援、商店街支援等、民間ノウハウを活用した連携事業の実施など、市内中小企業・小規模事業者を支援します。						
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度			
	<ul style="list-style-type: none"> ○経営課題の解決に向けた支援（事業承継・人材育成等の支援） <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業向けセミナーの開催 ○中小企業事業資金融資あっせん事業 ○創業支援 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家による事業所訪問 ・創業セミナーの開催 ○見本市等出展支援 ○調布市商工会事業の支援（再掲） ○商店街活性化の推進（再掲） 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 			
事業費 (百万円)	50	48	48	48			

16-4

新たな創業への支援

◆創業に向けた支援

市内での新たな創業を促進するため、産業労働支援センターでは、相談員による創業相談や創業に関するセミナーや講演会の実施など、創業を目指す市民を支援します。

◆創業者に対する支援

産業労働支援センター内のスモールオフィスで市内での創業を支援するとともに、商店街の空き店舗等を活用した創業者向けの創業チャレンジ支援事業を実施します。また、コミュニティ活動を通じ、地域資源を生かしながら地域課題の解決を目指す、コミュニティビジネスの育成・支援を関係機関との連携により行います。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
産業労働支援センターでの創業等相談件数	488件 (平成29(2017)年度)	520件 (令和4(2022)年度)

基本計画事業

No.	55				
事業名	産業労働支援センターによる創業の支援	区分	継続	担当課	産業振興課
事業の概要	産業労働支援センターにおいて、相談員による創業経営相談や創業に関するセミナー・講演会の開催、スモールオフィスの貸出等、創業に関する支援を行います。				
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	
	○創業経営相談 ○創業経営支援セミナー ○創業支援施設貸出 ○創業チャレンジ支援事業	○継続 ○継続 ○継続 ○継続	○継続 ○継続 ○継続 ○継続	○継続 ○継続 ○継続 ○継続	
事業費 (百万円)	10	10	10	10	

16-5

特性を生かした地場産業の振興

◆映画・映像関連企業と連携した地域活性化

調布市の特性を生かした産業振興を図るため、「映画のまち調布」の取組を通じて、調布市の大きな特色である映画・映像関連企業をはじめとする市内企業の活性化や、映画・映像関連企業との連携・協力によるまちづくりを推進します。

◆農商連携の取組による産業の振興

地場農産物を活用した新商品・新製品の開発、販路拡大を市内事業所等と連携する、農商連携の取組により、市内産業の活性化につなげます。

◆産学官連携の推進

相互友好協力協定を締結している電気通信大学等と商工会、市内事業所等が連携し、産学官連携の取組により、市内産業の振興に取り組みます。

◆企業誘致による産業の活性化

民間ノウハウの活用や様々な場面での企業間連携などを通じ、企業間交流を促進する中で、企業誘致策を検討し、産業の活性化に取り組みます。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
映画・映像関連企業と連携した取組の件数	35件 (平成29(2017)年度)	50件 (令和4(2022)年度)

基本計画事業

重点4

No.	56					
事業名	「映画のまち調布」の推進 [再掲]		区分	継続	担当課	産業振興課
事業の概要	市内映画・映像関連企業や市民団体との連携を図りながら、フィルムコミッション事業、各種映画関連イベントを実施するとともに、映画関連企業の映画・映像に関する取組の情報発信を行い、「映画のまち調布」のPRに取り組みます。					
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度		
	<ul style="list-style-type: none"> ○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○継続 ○継続 ○継続 ○継続 		
事業費 (百万円)	14	14	14	14		



映画のまち調布 シネマフェスティバル



映画のまち調布 応援キャラクター「ガチョラ」

参加と協働の視点

～市民等に期待される役割～

- 市民は、バイ調布運動（市内消費）に協力します。
- 事業者は、魅力ある商店街づくりや快適で安心して買物ができる環境づくりに努めます。

多様な主体との連携事例

○ 商店街活性化の推進事業

市内の商店会の主催で、商店等の店主が講師となり、来客者等に専門知識やノウハウならではのコツを無料で提供する「まちゼミ」や、旧甲州街道を中心とした商店街回遊事業である「旧道さんぽ」を実施しています。

【所管課】産業振興課

【協働のパートナー】市内商店会、調布市商工会

○ 地域経済活性化に向けた商業施設等との連携

トリエ京王調布のオープンを契機として、調布駅周辺商店会、大型商業施設、シネマコンプレックス、調布市文化・コミュニティ振興財団、商工会等が連携することにより「地域経済の活性化」につなげる取組を実施しています。「イオンシネマ シアタス調布」の当日座席指定券を提示すると様々なサービスが受けられる「半券サービス」事業の実施や、調布駅近隣の飲食店を掲載したマップ「調布駅近隣飲食店エキモリマップ」の発行を行っています。

【所管課】産業振興課

【協働のパートナー】調布駅前から盛り上げる会

○ 金融機関と連携した中小企業支援事業

市内の中小企業振興や、地域経済の活性化を図るため、多摩信用金庫職員による毎週の相談会をはじめとして、各金融機関との共催による中小企業支援セミナーを取り組んでいます。

【所管課】産業振興課

【協働のパートナー】多摩信用金庫、三井住友銀行、りそな銀行、みずほ銀行及びみずほ信託銀行、西武信用金庫

○ 産学官連携による産業振興

商工会や電気通信大学と連携して市内中小企業のネットワークづくりに取り組んでいます。

特に、電気通信大学UECアライアンスセンターによる毎月のワークショップについては、市内事業者にも参加を呼び掛けています。

【所管課】産業振興課

【協働のパートナー】電気通信大学、市内事業者、調布市商工会



＜調布まちゼミのチラシ＞



＜エキモリマップ＞



＜中小企業支援セミナーの様子＞